



- a. 無塗装道南杉と木酢液を浸透した道産カラマツの外観。
- b. ナラフローリングと珪藻土壁、和紙天井の寝室。
- c. 自然塗料仕上げの木製断熱玄関ドア。
- d. コルクフロアとホタテ漆喰壁、木繊維クロス天井のユーティリティ。
- e. 2階フリースペースの床はカラマツ厚板の踏み天井仕上げ。
- f. カラマツ梁を晒した吹抜け天井のリビングダイニング。
- g. 減農薬栽培のイ草に綿緑畳の和室。障子紙は月桃紙。

**有限会社  
 ビオプラス西條デザイン**

本社：〒022-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1  
 Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581

伊達支店：〒052-0014 伊達市舟岡町50-28  
 Tel.0142-22-0138 Fax.0142-22-0139  
 www.saijo-d.com

◎「ECOさんが帰る場所」連載中(P38~P39)

**ありのままの自然を取り入れた、北海道の木の住まい。**

天然素材をできるだけ使った、北海道の木の家で暮らしたい。  
 そんな自然を愛するオーナーが、人と環境に負荷を与えない住まいづくりを提案するビオプラス西條デザインと出会い、道産材をふんだんに使ったこだわりのマイホーム計画をスタートさせた。

特徴的なのは、道産トドマツとカラマツの木を使った構造材に集成材を用いず、ムクの木だけを使っているほか、下地の合板類も一切使用していないこと。また、函館で深刻化しているシロアリ対策として、蟻道を確認しやすい床下の施工に努め、薬剤に頼らずヒバ油を塗布していることなどがあげられる。

外壁の仕上げは、無塗装の地元道南スギと木酢液を浸透させた道産カラマツの板張り。断熱性能は、新聞古紙をリサイクルしたセルロースファイバーの断熱材に加え、外張り負荷断熱として、杉樹皮を再利用した木質繊維ボードで強化している。内部は真壁と大壁を使い分けながら、カラマツ梁の木組みも晒し、ナラやカラマツのフローリング、エゾマツの枠・建具や障子など、見えるすべての木材に道産材を使用している。

木材の呼吸を妨げない自然塗料仕上げは、肌触りもやさしく温もりに満ちている。天井の仕上げは、土佐和紙と木繊維クロスを貼り、障子紙には沖縄の月桃紙を使用。壁は道産珪藻土の土壁をベースとし、水回りには、ホタテ漆喰を採用している。

化学系接着剤を極力使用せず、ほとんどの素材が最終的に土に還るものばかり。完成した住まいは、オーナーが求めた素朴な心地よさと、ありのままの自然素材であふれたまさに理想的な住空間となった。